

企画展

# 浮世絵 で 旅気分

Thematic Exhibition  
An Ukiyo-e Journey :  
Images of Travel from Edo Japan

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 月曜日(ただし、1/10(月)は開館、1/11(火)は休館)  
観覧料 一般 1,200円・高大生 700円・小中生 500円  
※20名以上の団体は一般1,000円、高大生600円、小中生400円  
※土曜日は高校生以下入館無料  
主催 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・毎日新聞社  
協力 名古屋市交通局

2022  
1.4(火) - 1.30(日)

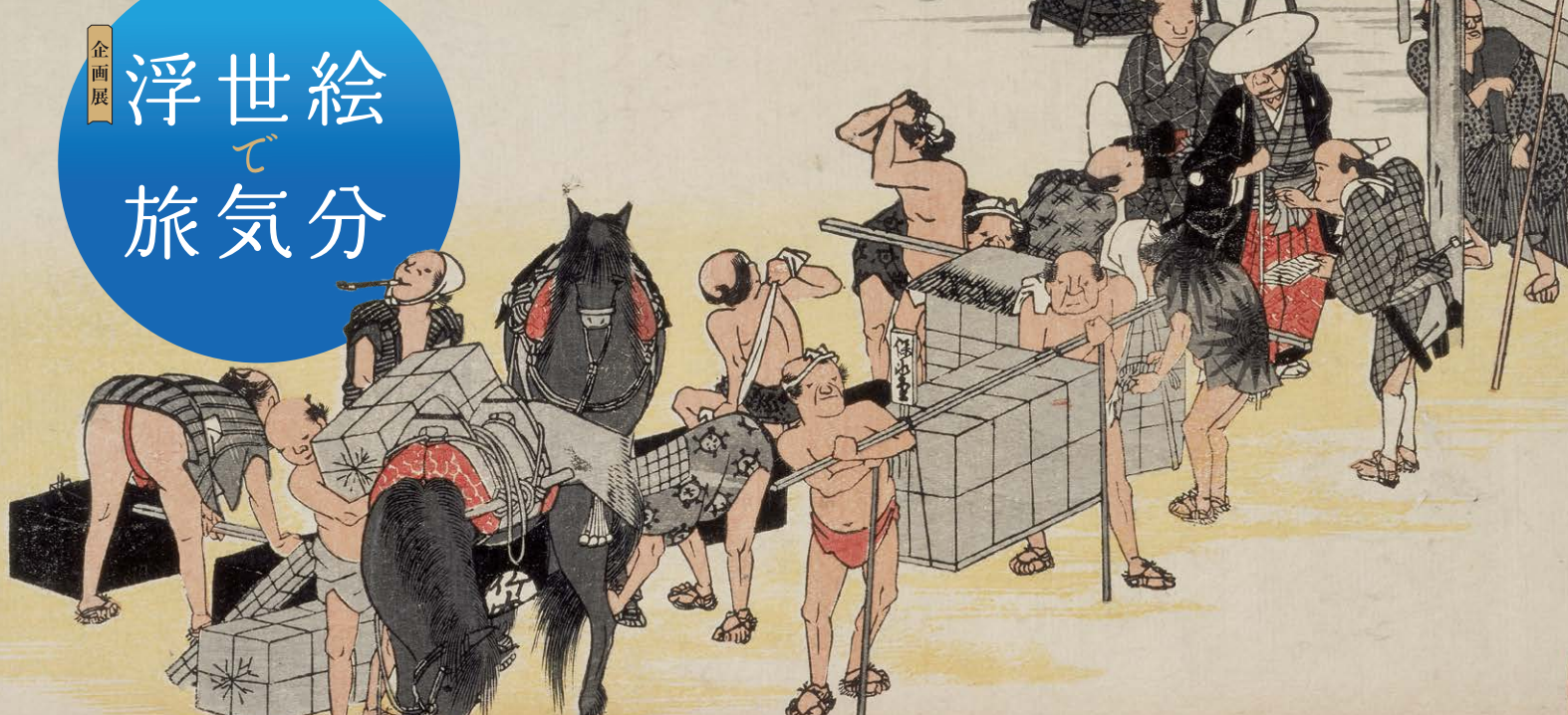
徳川美術館

THE TOKUGAWA ART MUSEUM  
TEL (052)935-6262 FAX (052)935-6261

蓬左文庫

HOSA LIBRARY, CITY OF NAGOYA  
TEL (052)935-2173 FAX (052)935-2174  
〒461-0023 名古屋市東区徳川町

# 浮世絵 で 旅気分



広重 東海道五拾三次之内 藤枝 人馬雜立(保永堂版) 名古屋市博物館蔵

江戸時代中期、全国の地誌への関心が高まると、旅行文芸書や、各地のガイドブックとしての名所図会が刊行されるようになり、さらにカラフルな1枚刷りの風景版画となって盛んに作られるようになりました。14歳で亡くなった尾張徳川家13代慶藏(1836~49)の副葬品にも数多くの風景版画が含まれているほどです。

風景版画の立役者であった歌川広重(1797~1858)は、保永堂から出版した「東海道五拾三次之内」が人気を博し、風景画の第一人者に躍り出ました。写実を基本とする名所図会とは異なり、天候や時間帯をさまざまに設定し、登場人々にも工夫を凝らすなど独自の脚色をちりばめた作品群は、ひときわ旅の気分が溢れているように感じられます。

本展では、旅の雰囲気を生み出すための広重の工夫に注目し、当時の人々が作品から感じたであろう旅の気分を追体験してみようと思います。



広重 東海道五拾三次之内 御油 旅人留女(保永堂版) 名古屋市博物館蔵



広重 東海道五拾三次之内 関 本陣早立(保永堂版) 名古屋市博物館蔵



広重 木曾海道六拾九次之内 洗馬 徳川美術館蔵  
(※作品画像は表裏とすべて部分図)

土曜講座

## 「大名行列と浮世絵風景版画」

副館長・学芸部長 神谷浩  
日時:1月8日(土) 午後1時30分~3時(開場:1時)  
会場:講堂  
※事前申込制ですでに満席。  
但し、講座当日に空席がある場合のみ、先着順で受講可。(入館料とは別に800円が必要)

徳川園催事

## 寒を遊ぶ 徳川園の冬牡丹

1月2日(日)~2月20日(日)



特別展

## 「尾張徳川家の雛まつり」

企画展

## 「年中行事の今と昔」

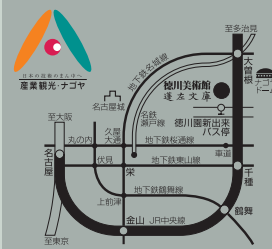
2月5日(土)~4月3日(日)



有職雛

## 新型コロナウイルス感染症対策

- マスクを着用してご来館ください。●入口にて検温を実施しております。
- 展示室内での会話はお控えください。
- 今後の状況によっては、展覧会・イベントが変更・中止となる場合がございます。



〒461-0023 名古屋市東区徳川町

- 徒歩バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
- メーグル「徳川園・徳川美術館・徳川文庫」下車
- JR中央線「大宮駅」下車南口より徒歩10分